記者発表資料

平成３０年度
国土交通省
東北地方整備局関係

青森県内事務所予算概要

平成３０年３月３０日

※発表記者会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問い合わせ

青森河川国道事務所	青森市中央３丁目２０－３８　ＴＥＬ：017-734-4521		
	計画課長（全般）	木村（きむら）　慎二（しんじ）	（内線２６１）
	河川副所長	安部（あべ）　剛（つよし）	（内線２０４）
	工務第一課長（河川担当）	板垣（いたがき）　雅道（まさみち）	（内線３１１）
	道路副所長	高橋（たかはし）　秀典（ひでのり）	（内線２０５）
	工務第二課長（道路担当）	佐々木（ささき）　耕嗣（こうじ）	（内線４１１）
高瀬川河川事務所	八戸市石堂３丁目７－１０　ＴＥＬ：0178-28-7135		
	技術副所長	田川（たがわ）　和義（かずよし）	（内線２０４）
	工務課長	金枝（かねえだ）　富勝（とみかつ）	（内線３１１）
青森港湾事務所	青森市本町３丁目６番３４号　ＴＥＬ：017-775-1394		
	副所長	照井（てるい）　和幸（かずゆき）	
	企画調整課長	齋藤（さいとう）　靖（やすし）	
八戸港湾・空港整備事務所	八戸市沼館４丁目３番１９号　ＴＥＬ：0178-22-9391		
	副所長	鈴木（すずき）　真司（しんじ）	
	企画調整課長	大山（おおやま）　幹友（みきとも）	

平成３０年度 青森県内事務所予算概要

青森県内の国土交通省関係事務所の平成３０年度の直轄事業予算は、下記のとおりで、河川・道路・港湾空港等の計画的な執行により、社会資本整備の一層の推進を図ります。

平成３０年度事業費

青森河川国道事務所

国土交通省計上分　　約　９８億円
（内訳）
河川関係事業費　約　１４億円
道路関係事業費　約　８４億円
（参考）
復興庁計上分
道路関係事業費　約　１０億円

高瀬川河川事務所
国土交通省計上分　　約　　２億円

青森港湾事務所
国土交通省計上分　　約　　６億円

八戸港湾・空港整備事務所
（参考）
復興庁計上分
港湾事業費　　約　５０億円

※ 億円以下は四捨五入
※ 河川事業・道路事業・港湾事業とも、「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」「雪寒地域道路事業費」を除く。

【平成３０年度予算内訳】

（単位：百万円）

			平成29年度	平成30年度	摘　　要
河　川	河　川　関　係　事　業　費	国土交通省計上分	1,749	1,368	青　森　河　川　国　道　事　務　所
		（参考）復興庁計上分	0	0	
	河　川　関　係　事　業　費	国土交通省計上分	206	208	高　瀬　川　河　川　事　務　所
		（参考）復興庁計上分	0	0	
道　路	道　路　関　係　事　業　費	国土交通省計上分	8,277	8,426	青　森　河　川　国　道　事　務　所
		（参考）復興庁計上分	1,050	950	
港　湾	港　湾　事　業　費	国土交通省計上分	850	560	青　森　港　湾　事　務　所
		（参考）復興庁計上分	4,985	5,000	八戸港湾・空港整備事務所
空　港	空　港　整　備　事　業　費	国土交通省計上分	371	0	

※事業費は、業務取扱費を除く金額(工事関係費)で記載。

※河川事業・道路事業・港湾事業とも、「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」「雪寒地域道路事業費」を除く。

※本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。

平成３０年度

青森河川国道事務所　事業概要

平成３０年３月３０日

国土交通省　東北地方整備局

青森河川国道事務所

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央３丁目２０－３８　ＴＥＬ：017-734-4521

全　　般
計　画　課　長　木村（きむら）　慎二（しんじ）　（内線　２６１）

河　川　関　係
技　術　副　所　長　安部（あべ）　剛（つよし）　（内線　２０４）
工　務　第　一　課　長　板垣（いたがき）　雅道（まさみち）　（内線　３１１）

道　路　関　係
技　術　副　所　長　高橋（たかはし）　秀典（ひでのり）　（内線　２０５）
工　務　第　二　課　長　佐々木（ささき）　耕嗣（こうじ）　（内線　４１１）

平成３０年度青森河川国道事務所予算概要

青森河川国道事務所の平成３０年度の予算は以下のとおりで、河川及び道路事業の計画的な執行により、社会資本整備の一層の推進を図ります。

平成３０年度事業費

国土交通省計上分　　約　９８億円

（内訳）

河川関係事業費　約　１４億円

道路関係事業費　約　８４億円

（参考）

復興庁計上分

道路関係事業費　約　１０億円

注１）事業費は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

注２）河川事業・道路事業とも、「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」「雪寒地域道路事業費」を除く。

【平成30年度青森河川国道事務所 事業概要】

青森河川国道事務所では「安全で安心して暮らせる地域」「活力ある地域」を目指して、青森県の優れた自然環境、景観、観光資源等との調和を図りつつ、地域と連携を図りながら、河川・道路事業の効率的・円滑な実施に努めます。

１）河川事業

近年、気候変動に伴い、水害の頻度が増大しており、激甚化の恐れも高まっています。青森県内においても平成２５年９月の台風１８号等により、浸水被害が発生していることから治水安全度の向上が喫緊の課題となっています。

青森河川国道事務所では、治水安全度の向上を目指し、安心、安全な暮らしを守るために「岩木川水系河川整備計画」、「馬淵川水系河川整備計画」に基づき、水害が発生した地域における再度災害防止対策と併せて、予防的な対策を実施します。

併せて、「水防災意識社会　再構築ビジョン」としてハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進します。

また、良好な河川環境を保全するとともに、河川施設の的確な点検・修繕等の対策を着実に実施します。

２）道路事業

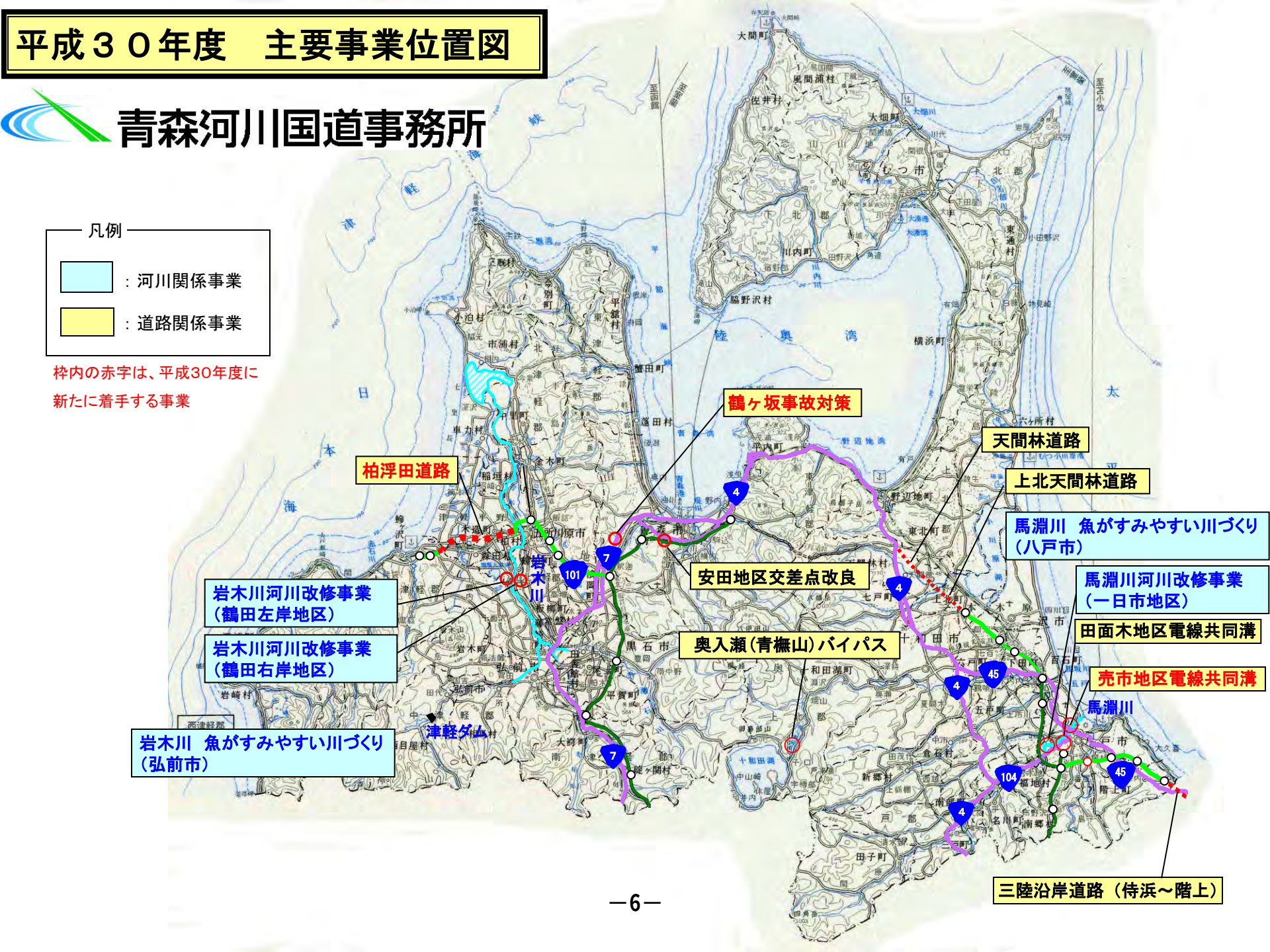
青森県は生活の足として自動車交通への依存率が高く、人口の集中する都市部を中心とした慢性的な交通渋滞や交通事故が多発しています。また、全国有数の豪雪地帯であり、冬期間の交通安全の確保も重要な課題となっています。

青森河川国道事務所では、このような県内の様々な課題に対応するため、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路の整備や安全で円滑な交通の確保を目的としたバイパス事業のほか、東日本大震災からの復興道路となる「三陸沿岸道路」など、７箇所の改築事業を実施します。

また、国道４号、７号、４５号、１０１号、１０４号の５路線３１４．２ｋｍについて、国民生活や経済の基盤であるインフラが的確に維持されるよう、道路施設の点検を実施し維持更新や除雪を行い、安全で円滑な交通を確保します。

平成３０年度　主要事業位置図

青森河川国道事務所



平成３０年度　河川事業のポイント

〔河川改修事業〕

＜継続事業＞

○岩木川においては、平成２５年９月の台風１８号による出水で、計画高水位を超過し、堤防天端付近まで水位が上昇した**“鶴田町鶴田右岸地区”**で築堤（引堤）を実施します。　（Ｐ－１３参照）

また、川幅が狭く流下能力の低い**“鶴田町鶴田左岸地区”**において、保安橋の架替（下部工）等を実施します。　（Ｐ－１３参照）

○馬淵川においては、近年、洪水被害が頻発しているため、流下能力の低い**“八戸市一日市地区”**において河道掘削等を実施します。　（Ｐ－１４参照）

〔環境整備事業〕

＜継続事業＞

○馬淵川・岩木川において、川の連続性を確保するとともに、魚類等の生息環境の向上を図る**“魚がすみやすい川づくり”**を継続推進します。

平成３０年度　道路事業のポイント

〔改築事業〕

高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として津軽自動車道、上北天間林道路、天間林道路や東日本大震災からの復興道路となる三陸沿岸道路、安全で円滑な交通の確保を目的とした奥入瀬（青橅山）バイパスの整備を継続して実施します。

＜新規事業＞

○国道１０１号”**柏浮田（かしわうきた）道路**”

柏浮田道路は、津軽自動車道の一部を構成し、冬期交通機能を確保するとともに、高速道路ネットワークが形成されることで、地域連携強化による周遊観光・地域産業の活性化、高次救急医療の支援などを目的とする自動車専用道路です。

（Ｐ－１０参照）

＜完成・開通予定事業＞

○国道４５号”**上北天間林（かみきたてんまばやし）道路**”

上北天間林道路は、東北縦貫自動車道八戸線の一部を構成し、国道４号及び４５号の交通混雑緩和、物流の速達性向上等を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。平成３０年度は、全線２車線開通に向けて、舗装工事等を実施します。

（Ｐ－１１参照）

＜継続事業＞

○国道１０３号”**奥入瀬（おいらせ）（青橅山（あおぶなやま））バイパス**”

国道１０３号奥入瀬（青橅山）バイパスは、並行する国道１０３号の隘路区間解消、観光期における交通混雑の緩和等を目的とするバイパス事業です。

（Ｐ－１５参照）

〔交通安全施設等整備事業〕

＜継続事業＞

○国道7号”**安田（やすだ）地区交差点改良**”は、下り線において混雑に伴う追突事故等が発生しているため、付加車線整備により交通事故の削減や交通の円滑化を図る事業です。

（Ｐ－１５参照）

〔無電柱化推進事業〕

＜継続事業＞

○国道１０４号”**青森104号電線共同溝（田面木（たものき）地区）**”は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。

（Ｐ－１６参照）

【平成30年度　新規事業化箇所一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H30事業費（百万円）	H30事業内容	頁
道路	直轄	国道101号　柏浮田道路	つがる市	ー	180	調査設計	P10
道路	直轄	国道7号　青森7号交通安全対策（鶴ヶ坂地区事故対策）	青森市	ー	15	調査設計	
道路	直轄	国道104号　青森104号電線共同溝（売市地区）	八戸市	ー	104	調査設計、支障物移設	

【平成30年度　完成・開通予定事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	H30事業費（百万円）	H30事業内容	頁
道路	直轄	国道45号　上北天間林道路	上北郡東北町～七戸町	518	全線2車線開通 調査設計、支障物移転、舗装工事	P11

【平成30年度　新規事業化箇所】

国道101号　柏浮田（かしわうきた）道路

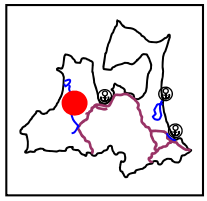
H30：180百万円

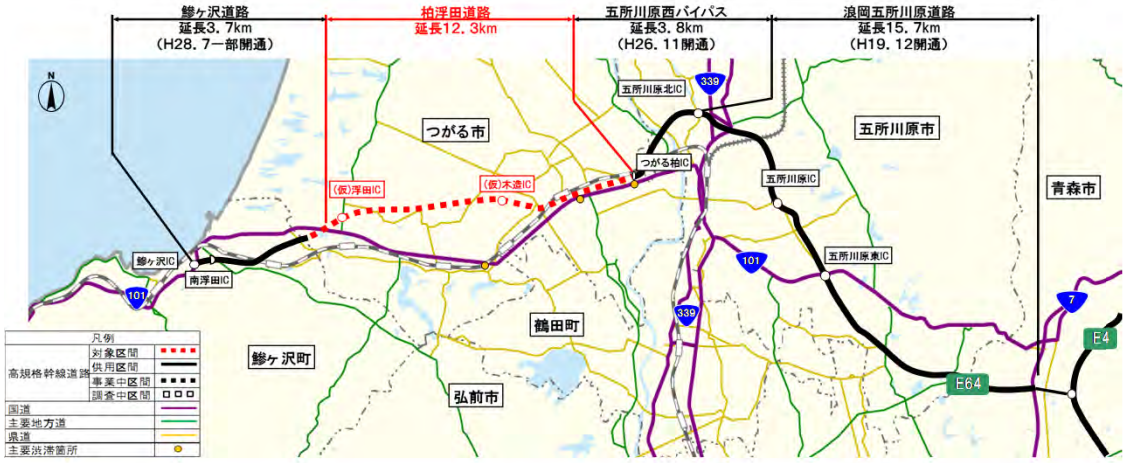
開通予定　：　ー

新規	青森県つがる市	道路	直轄

【事業の概要】

柏浮田（かしわうきた）道路は、津軽自動車道の一部を構成し、冬期交通機能を確保するとともに、高速道路ネットワークが形成されることで、地域連携強化による周遊観光・地域産業の活性化、高次救急医療の支援などを目的とする自動車専用道路です。





【整備効果】

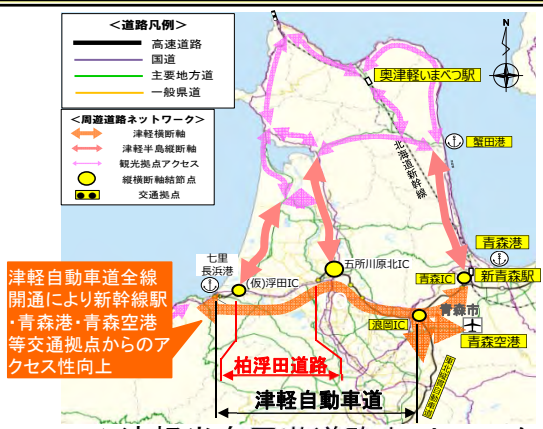
○発生頻度の高い地吹雪や積雪による交通機能低下などの課題が多い当地域において、信頼性の高いネットワークを構築します。

○西津軽地域と主要な交通拠点を結ぶ高速道路網を確保し、観光振興・地域産業の活性化を支援します。

○高次救急医療施設への搬送時間の短縮・より安定した搬送の実現により、救急医療活動を支援します。



▲冬期の交通状況（地吹雪）



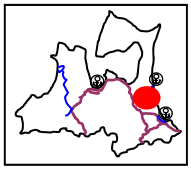
▲津軽半島周遊道路ネットワーク

【平成30年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

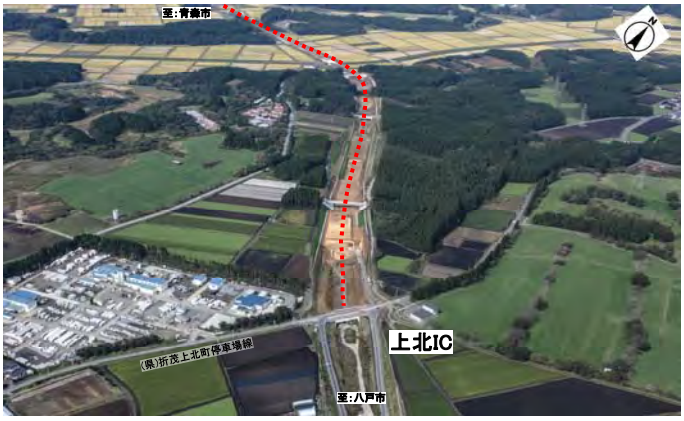
【平成30年度　完成・開通予定事業箇所】

国道45号　上北天間林道路		H30：518百万円	
開通	青森県上北郡東北町～七戸町	道路	直轄

【事業の概要】
上北天間林道路は、東北縦貫自動車道八戸線の一部を構成し、4号及び45号の交通混雑緩和、物流の速達性向上等を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

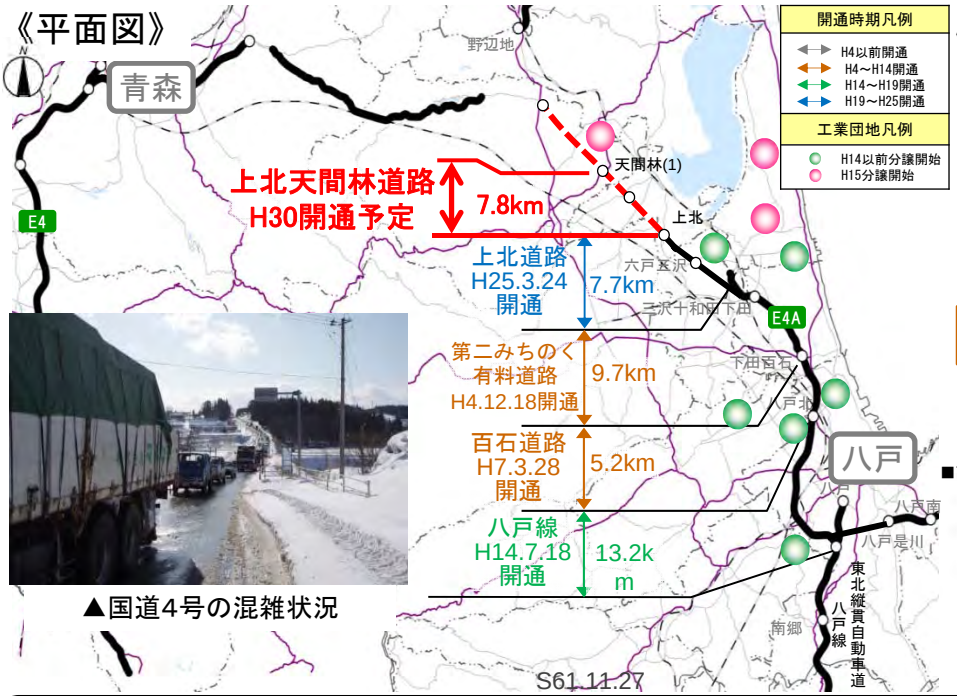






【整備効果】
〇並行する4号及び45号の交通混雑の緩和が期待されます。
〇物流等の輸送効率化が図られ、更なる企業立地促進や雇用創出を支援します。

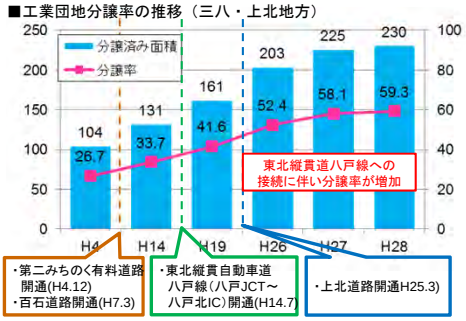
《平面図》



▲国道4号の混雑状況

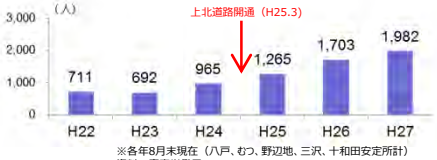
《効果》

■工業団地分譲率の推移（三八・上北地方）



※各年4月1日現在　資料：青森県商工労働部

■高卒求人数の推移（三八・上北地方、下北地方）



※各年8月末現在（八戸、むつ、野辺地、三沢、十和田安定所計）
資料：青森労働局

【平成30年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、舗装工事等を実施します。

【主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H30事業費（百万円）	H30事業内容	備考
河川	直轄	岩木川　河川改修事業（鶴田右岸地区）	北津軽郡鶴田町	―	（1,211）	用地取得	P13
河川	直轄	岩木川　河川改修事業（鶴田左岸地区）	北津軽郡鶴田町	H30年代	（1,211）	橋梁（保安橋）下部工	P13
河川	直轄	馬淵川　河川改修事業（一日市地区）	八戸市	H30年代	（110）	用地取得	P14
河川	直轄	馬淵川　魚がすみやすい川づくり	八戸市	H33	11	魚道改良等	
河川	直轄	岩木川　魚がすみやすい川づくり	弘前市	H36	16	瀬と淵の再生等	
道路	直轄	国道45号　天間林道路	上北郡七戸町	―	4,172	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道103号　奥入瀬(青橅山)バイパス	十和田市	―	1,250	調査設計、支障物移転、改良・橋梁・トンネル工事	P15
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（侍浜～階上）　★	三戸郡階上町	H32全線	950	調査設計、用地補償、改良・舗装工事	
道路	直轄	国道7号　青森7号交差点改良等（安田交差点改良）	青森市	―	135	改良工事	P15
道路	直轄	国道104号　青森104号電線共同溝（田面木地区）	八戸市	H31	95	引込連系管路工事、連系設備工事、路面復旧	P16

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。
※　事業費の（　）の金額は、当該河川・水系全体の事業費

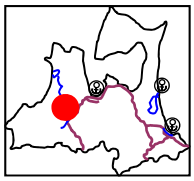
岩木川 河川改修事業（鶴田右岸地区）

H30：1,211百万円※
完成予定：　－

継続	青森県北津軽郡鶴田町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

平成25年9月洪水において、計画高水位を超過し、堤防天端付近まで水位が上昇したことから、川幅が狭い当該地区において、築堤（引堤）を実施します。
平成30年度は、築堤（引堤）箇所の用地取得を実施します。



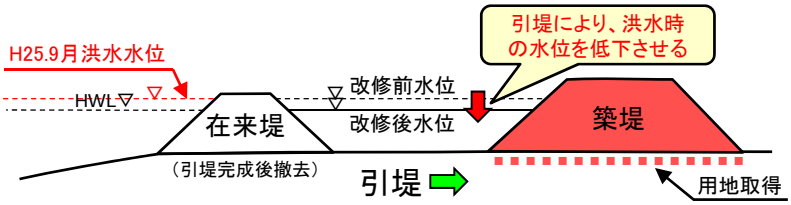




▲水位が堤防天端付近まで上昇（H25.9月洪水）



▲緊急土のう設置状況(H25.9月洪水)



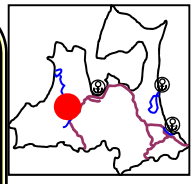
岩木川　河川改修事業(鶴田左岸地区)

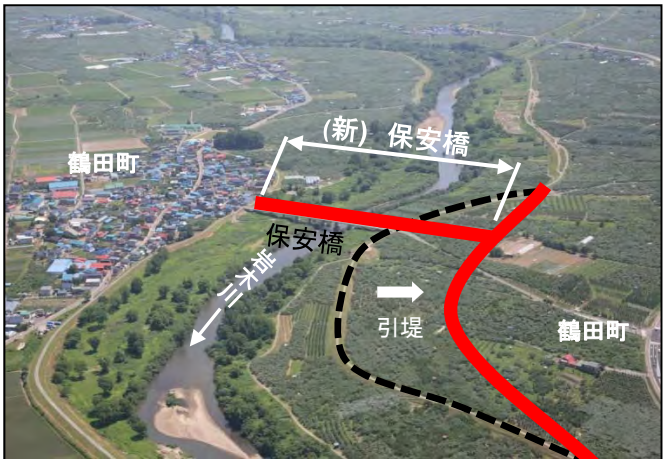
H30：1,211百万円※
完成予定：H30年代

継続	青森県北津軽郡鶴田町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

鶴田左岸地区は、川幅が狭く洪水時に水が流れにくい箇所となっています。このため、現在の堤防の背面に新たに堤防を整備して川幅を拡げ、併せて保安橋の架替を行い、河川の水位を低下させます。
平成30年度は、橋梁架替（下部工）等を実施します。







馬淵川（まべちがわ）　河川改修事業（一日（ひとい）市地区）

H30：110百万円 ※

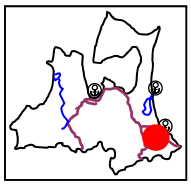
完成予定：H30年代

継続	青森県八戸（はちのへ）市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

青森県南東部の主要都市「八戸市」を貫流する馬淵川において、平成23年9月洪水で被害が発生した一日市地区の流下能力向上のため、河道掘削を実施し、河川の水位を低下させます。

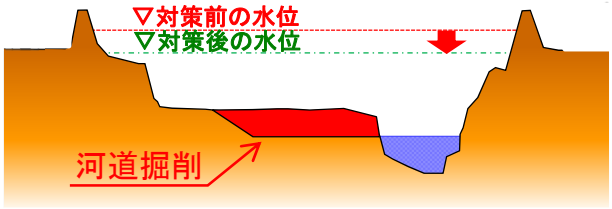
平成30年度は、掘削箇所の用地取得を実施します。







河道掘削により、洪水時の水位を低下させます。



【河道掘削（イメージ）】

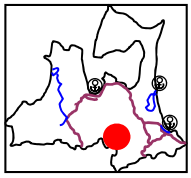
国道103号　奥入瀬（青橅山）バイパス

H30：1,250百万円

開通予定：　－

継続	青森県十和田市	道路	直轄

国道103号　奥入瀬（青橅山）バイパスは、並行する国道103号の隘路区間解消、観光期における交通混雑の緩和等を目的とするバイパス事業です。







▲国道103号の交通混雑状況

奥入瀬（青橅山）バイパスの整備により、代替路線が確保されることにより、国道103号の隘路区間の解消や交通混雑の緩和等が図られます。

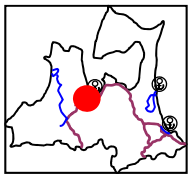
国道7号 青森7号交通安全対策（安田地区交差点改良）

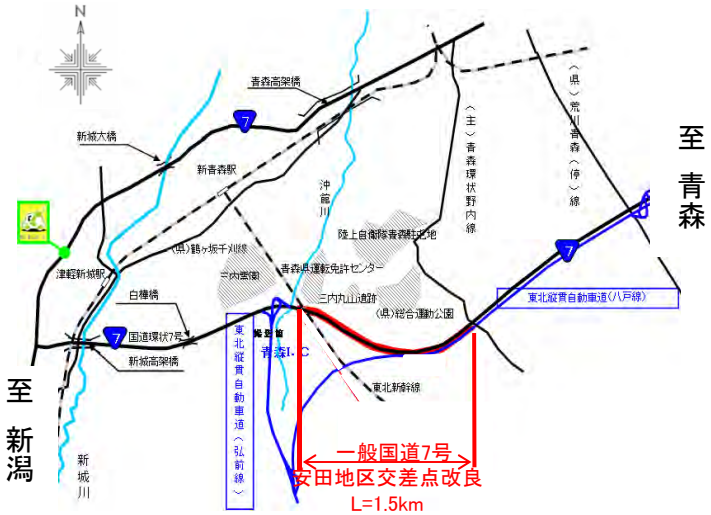
H30：135百万円

開通予定：　－

継続	青森県青森市	道路	直轄

安田地区交差点改良は、下り線において混雑に伴う追突事故等が発生しているため、付加車線整備により交通事故の削減や交通の円滑化を図る事業です。







▲青森I. Cから安田交差点間における混雑状況

付加車線整備により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

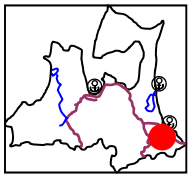
国道104号　青森104号電線共同溝（田面木（たものき）地区）

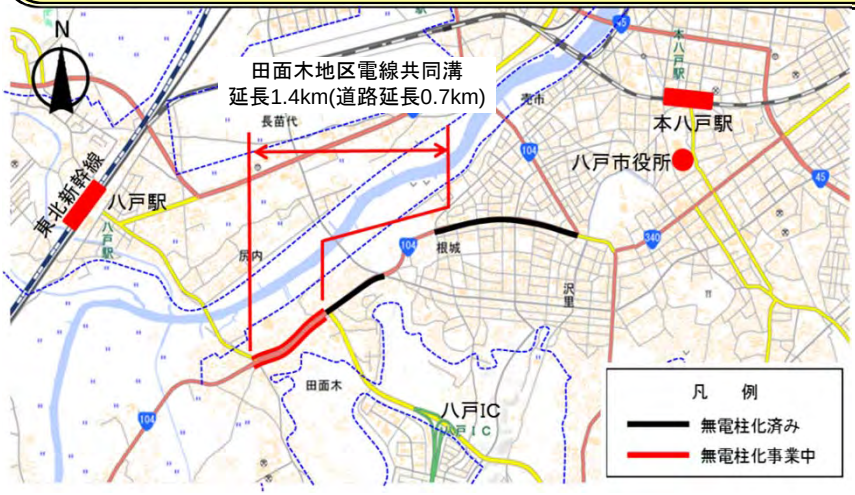
H30：95百万円
完成予定：H31

継続	青森県八戸（はちのへ）市	道路	直轄

【事業の概要】

田面木地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。







平成30年度
高瀬川河川事務所　事業概要

平成30年　3月30日

国土交通省　東北地方整備局

高瀬川河川事務所

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　高瀬川河川事務所
八戸市石堂三丁目7－10（TEL0178－28－7135）

（たがわ　かずよし）
技術副所長　　田川　　和義（内線204）
（かねえだ　とみかつ）
工務課長　　金枝　　富勝（内線311）

平成３０年度　事業概要

１．　予算概要

平成３０年度の事業費は、以下のとおりです。

高瀬川河川事務所　平成３０年度当初予算

国土交通省計上分　　事業費　約２億円

２．　小川原湖水環境整備事業

小川原湖の水環境の保全・改善のため、調査及び試験施工を実施します。

（予算内訳）

		事業費　（百万円）		適　　用
		H29 年度	H30 年度	
河川関係事業費	国土交通省　計上分	206	208	

※維持修繕関係事業費を除く。

高瀬川　小川原湖水環境整備事業

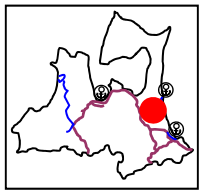
H30：144百万円

完成予定：H40年代

継続	青森県三沢市、上北郡東北町、上北郡六ヶ所村	河川	直轄

汽水環境を有する小川原湖は過去にアオコが発生する等、水質が悪化傾向を示した経緯があることから、水質改善の対策等を実施し、小川原湖水環境の改善を図ります。

平成30年度は、アオコの原因となる底泥上の植物プランクトンの増殖や湖内への巻き上がりを抑制するための覆砂の試験施工を実施します。







アオコの発生状況

平成３０年度

青森県内港湾空港関係事務所
事業概要

平成３０年３月

国土交通省　東北地方整備局
青　森　港　湾　事　務　所
八戸港湾・空港整備事務所

問い合せ先

青森港湾事務所　青森市本町３丁目６番３４号　TEL:017-775-1394
副所長　照井（てるい）　和幸（かずゆき）
企画調整課長　齋藤（さいとう）　靖（やすし）

八戸港湾・空港整備事務所　八戸市沼館４丁目３番１９号　TEL:0178-22-9391
副所長　鈴木（すずき）　真司（しんじ）
企画調整課長　大山（おおやま）　幹友（みきとも）

１．港湾空港関係事業の概要

青森県内における直轄港湾空港関係予算（東北地方整備局執行分）は、当初予算約５６億円（対前年度比０．９０３）。

平成３０年度の港湾空港関係事業について、青森港においては、港湾施設の機能維持や延命化を図るため、老朽化対策として本港地区及び沖館地区の岸壁改良を行います。

八戸港においては、防波堤を整備し、八太郎地区及び河原木地区の安定的な海上輸送確保により、臨海部企業の国際競争力強化、雇用の安定的な確保を図るとともに、荒天時における避泊水域を確保し、沖合航行船舶の海難事故減少を図ります。

２．事業費および主要事業内容

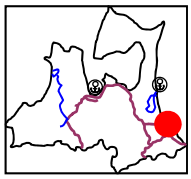
（単位：百万円）

港　　名	平成３０年度 事業費	主な事業内容
青　森　港	５６０	本港地区・沖館地区老朽化対策
八　戸　港	５，０００	八太郎地区・外港地区防波堤整備事業
合　計	５，５６０	

八戸港　八太郎・外港地区　防波堤整備事業

継続	青森県八戸市	港湾	直轄

防波堤の整備により、港内の静穏性を向上させ、荷役作業の安全性、効率性を高めます。また、避泊水域※を確保することで沖合を航行する船舶の海難事故防止を図ります。







▲河原木地区岸壁での荷役状況

※避泊水域とは、荒天時などに港内に避難してきた船舶が停泊する場所